

なかがわ 議会だより

No 141

2022.7

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



5月15日(日) 花たび宗谷号

主な 内容

- 第2回定例会【一般質問 1氏】
- 全道町村議会議員研修会・町議会議員研修
- 議会日誌
- 編集後記

◆ 第2回定例会 ◆

令和4年第2回定例会は6月16日招集され、会期を1日とし、1議員の一般質問、報告3件、議案9件、意見書4件、会議規則5件を決議し閉会しました。



第2回定例会の様子

議案審議結果

【報告】
▼第30期中川町地域開発振興公社決算報告について

【報告済】
当期純利益661万4710円。

▼令和3年度中川町繰越明許費繰越計算書について

【報告済】

■事業名及び繰越額

○住民税非課税世帯臨時特別給付金 180万円

○ICT設備移設工事

258万円5千円

○住民基本台帳システム改修委託 176万円

▼令和3年度中川町事故繰越し繰越計算書について

【報告済】

■事業名及び繰越額

○畜産クラスター施設整備事業補助 1億526万1千円

○畜産クラスター施設整備事業補助（令和2年度繰越明許費）

10億5260万1千円

【条例一部改正】

▼職員の育児休業等に関する

条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のために講じる措置に係る「国家公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に準じ、非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和し、取得しやすい勤務環境を整備するための所要の改正。

▼中川町税条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことから、中川町税条例の町民税、固定資産税等の所要の改正。

▼中川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことから、本条例の所要の改正を行うもので、改正内容は課税限度額の引き上げに関する改正。

【契約】

▼工事請負契約の締結（令和4年度歌内本線道路改良工事1工区）

【原案可決】

■契約方法：指名競争入札
■契約金額：5500万円

■契約の相手方：中川郡中川町字中川430番地5
株式会社 佐藤工建

代表取締役 佐藤 正樹

【規約改正】

▼北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

【原案可決】

「上川中部福祉事務組合」の加入に伴い、規約を改正する必要があるため、議会の議決を求めるもの。

▼北海道市町村総合事務組合規約の変更について

【原案可決】

「上川中部福祉事務組合」の加入に伴い、規約を改正する必要があるため、議会の議決を求めるもの。

▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

【原案可決】

「上川中部福祉事務組合」の加入に伴い、規約を改正する必要があるため、議会の議決を求めるもの。

【予算】

▼令和4年度中川町一般会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ

4848万4千円を追加し、
予算総額をそれぞれ40億59
48万4千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、住民税非
課税世帯臨時特別給付金、子
育て世帯生活支援特別給付金
新型コロナウイルス4回目接
種、農業振興センターD型ハ
ウス新設工事、道の駅屋根改
修工事の追加。

▼令和4年度中川町介護保険
特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ
1106万円を追加し、予算
総額をそれぞれ2億8487
万1千円とする。【原案可決】
主な補正内容は、前年度の
介護給付費等の確定に伴う返
還金の追加。

【意見書】

▼森林・林業・木材産業によ
るグリーン成長に向けた施策
の充実・強化を求める意見書
▼地方財政の充実・強化に関
する意見書

▼義務教育費国庫負担制度堅
持・負担率1/2への復元、
「30人以下学級」など教育予
算確保・拡充と就学保障の実
現に向けた意見書

▼2022年度北海道最低賃

金改正等に関する意見書

■地方自治法第99条の規定に
基づき関係各位に送付。

※意見書の要旨は、4～5ペ
ージに掲載

【会議規則に伴うもの】

▼調査期限の延期の要求につ
いて（中川町ポンプリアクラ
リスイング基本計画策定特別
委員会）
令和4年6月30日までに調
査を終了するよう期限を付け
たが、会議規則第46条第2項
の規定により令和4年第3回
定例会まで期限を延期。

▼閉会中の継続調査の申し出
（総務常任委員会）

- 事件
- 1 医療・福祉施設の運営につ
いて
 - 2 住民交通機関対策につ
いて
 - 3 地域教育力の向上につ
いて
 - 4 総務常任委員会にかかわ
る施策について
- 期限
令和4年第3回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出
（経済常任委員会）

- 事件
- 1 産業振興対策の現況と今
後の展開について
 - ・ 農林業振興政策について
 - ・ 有害鳥獣対策について
 - 2 公共施設の今後のあり方
について
 - 3 経済常任委員会にかかわ
る施策について
- 期限
令和4年第3回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出
（議会運営委員会）

■事件

- 1 本会議の会期日程等議
会の運営に関する事項につ
いて

■期限
令和4年第3回定例会まで。

【継続調査決定】

▼議員派遣の件について
全道町村議会議員研修会
全道議会広報研修会

【議員派遣決定】

質疑応答

▼中川町条例の一部を改正
する条例について

問 交付手数料の金額が上がる
理由について。

答 昨年の手数料条例一部変更
の際に併せて改正するべきと
ころ、失念しておりその部分
の改正をするため金額が上が
っております。

▼令和4年度中川町一般会計
予算補正

問 労務単価の改定に伴う補正
について相当数の説明があっ
たが、なぜ施工されてから短
い期間でこんなに出るのか。

答 4月当初に契約をしなくて
はならないものについては旧
単価で契約を行い、改定後の
ベースアップのあった新労務
単価では予算が不足したため
追加をしています。

問 D型ハウスの本体工事と取
り壊し料について保険金に対
して倍以上の金額だがどうな
っているのか。

答 D型ハウスの工事について
は保険の限度額を800万と
設定した内容となっております。
今後整備するD型ハウスにつ
いての規模は以前と同程度の
面積になっていきます。

問 農業振興センターで以前に
トラクターの事故があったが、

今回の件も含めて管理が甘い
のではないか。

答 事案発生の都度、注意喚起
や処分を行政や農業振興セン
ターで行っています。意識が
甘いのではないかとという議員
のご指摘は素直に受け止め、
更に注意喚起を促し出来る限
りこのような事案が発生しな
いように努めてまいりたいと
思っています。

問 D型ハウス内に保管されて
いたトラクターとトラクターの
修理費について。

答 トラクターの修理は必要あ
りませんでした。トラクターの
修理費用は125万円、共済
の保険金が75万円あり、一般
会計から残りの修理費として
50万円支出させていただきま
す。

問 地域おこし協力隊員報酬の
減額と委託費の追加について
の説明を。

答 地域おこし協力隊員報酬の
減額451万円については、
協力隊の運用を見直し地域開
発振興公社に2名の身分が移
管されるため減額しています。
委託費については公社と調整
中のため身分移管の時期を1
か月分多く余裕をもって予算

を計上しています。

【問】地域おこし協力隊2名の身分移管はいつ頃なのか、また地域おこし協力隊委託型事業費補助金の内訳について。

【答】身分移管については6月16日付を予定しています。補助金の内訳については移管される隊員2名と職員で事業計画を練っているところですので詳細についてはこれからですが、旅費やその他の活動経費の枠として、この金額が活動費として国から認められています。

【問】森林公園のログハウスが解体されたが、見晴公園も含めた公園の規模やあり方について考えた方がいいのではないか。

【答】令和5年に向け公園の存在理由を検討した中で規模や存廃について検討をさせていただきます。



森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

主要要請内容は次の通りです。

1. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、ゼロカーボン北海道の実現に貢献するため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
2. 森林資源の循環利用を一層推進するため、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用の促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和4年6月16日

内閣総理大臣他10名 宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤 輝雄

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

主要要請内容は次の通りです。

1. 国の責務である教育の機会均等・水準の最低保障を担保するため、義務教育費を無償とするよう求めます。少なくとも、義務教育費国庫負担制度を堅持し、当面、義務教育費国庫負担金の負担率を1/2に復元されるよう要請します。
2. 「30人以下学級」の早期実現にむけて、小学校1年生～中学校3年生の学級編制標準を順次改定するよう求めます。当面、中学・高校への「35人以下学級」拡大を求めます。また、地域の特性にあった教育環境整備・教育活動の推進、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するため、計画的な教職員定数改善による実質的な教職員増の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置の実現のため、必要な予算の確保・拡充を図るよう要請します。
3. 給食費、修学旅行費、教材費など保護者負担の解消や、図書費などについて国において十分な確保、拡充を行うよう要請します。
4. 就学援助制度・奨学金制度の更なる拡大、高校授業料無償化に対する所得制限の撤廃など、就学保障の充実に向け、国の責任において予算の十分な確保、拡充を図るよう要請します。
5. 高校授業料無償化制度への所得制限撤廃とともに、朝鮮学校の授業料無償化適用除外撤回を実現するよう要請します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年6月16日

内閣総理大臣他6名 宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤 輝雄

地方財政の充実・強化に関する意見書

主要要請内容は次の通りです。

1. 社会保障の維持・確保、防災・減災また脱炭素化対策、地域活性化にむけた取り組みや、デジタル化対策など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、それを支える人件費も含めて、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 新型コロナワクチン接種の体制確保、感染症対応業務のみに限定しない保健所体制・機能の全体的な強化、その他の新型コロナウイルス対応事業や地域経済の活性化までを見据えた十分な財源措置をはかること。
3. 子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充をはかること。また、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。
4. 2021年11月に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」における看護、介護、保育など新型コロナ感染症対応と少子高齢化への対応が重なる職種の処遇改善事業について、2021年度補正予算で補助金が創設されたが、より多くの職場で改善がはかられるよう、対象職種の拡大や事業の継続・拡大に向け、必要な予算確保や制度改善を行うこと。
5. デジタル・ガバメント化における自治体業務システムの標準化にむけ、地域デジタル社会推進費に相当する財源を継続して確保するなど、十分な財源を保障すること。また、デジタル化が定着化していく過渡期において生じ得る行政需要についても、人材・財源を含めた対応を行うこと。
6. 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円については持続可能な地域社会の維持・発展にむけて恒久的な財源とすること。また、同規模の財源確保はもとより、その拡充を含めて検討すること。
7. 会計年度任用職員制度の運用においては、今後も当該職員の処遇改善が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、さらなる財政需要を十分に満たすこと。
8. 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。
9. 森林環境譲与税については、より林業需要を見込める地方公共団体への譲与額を増大させるよう、その譲与基準を見直すこと。
10. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。あわせて、地方の安定的な財源確保にむけて、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。また、今後、国の施策の一環として、各種税制の廃止や変更、また減税等を検討する際は、地方の財政運営における予見性を損なわないよう、十分に地方団体等の意見を反映し、慎重に検討すること。
11. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年6月16日

内閣総理大臣他7名 宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤 輝雄

2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

主要要請内容は次の通りです。

1. 「地域間格差にも配慮しながら、より早期に全国加重平均1,000円になることを目指す」ことが堅持された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）」を十分尊重し、経済の自律的成長の実現に向けて、最低賃金を大幅に引き上げること。
2. 設定する最低賃金は、経験豊富な労働者の時間額が、道内高卒初任給（時間額1,042円）を下回らない水準に改善すること。
3. 厚生労働省の業務改善助成金など各種助成金を有効活用した最低賃金の引き上げを図ること。同時に、中小企業に対する賃上げしやすい環境整備、支援の充実と安定した経営を可能とする実効ある対策をはかるよう国に対し要請すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年6月16日

北海道労働局長他1名 宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤 輝雄

遊休公共施設の管理状況について

懸念する損害が発生しないように維持管理をしていく



小池 豊 議員

旧大永建設の社屋と住宅の不動産を採納した物件ですが、町長は、4年前に町の中心部という立地条件から住民の活用の利便性が極めて高いことと町の観光振興の方向性など、将来像を見据えながら改めて協議を進めると答弁されました。しかし、4年目を迎えた中で施策の方向性や計画などの行動が一向に見受けられませんので、改めて以下の点について伺いたいします。

- 1 旧大永建設の社屋と住宅の今後の取扱いについて
- 2 旧中川保育所の今後の取扱いについて
- 3 旧郷土資料館倉庫の取扱いと貸付について

石垣町長

1点目 旧住宅については、老朽化で利活用の可能性が極めて低く、敷地を有効利用する上でも必要と考えられ、補助事業で解体撤去を検討しています。旧社屋は、今後の町内会活動や事務局体制、観光振興の方向性を見定めながら協議を進めていきます。

2点目 施設の老朽化、経年劣化が顕著であり建物の利活用は極めて難しいと認識しています。また、これまで施設整備と旧施設の利活用や解体について、必ずしも一体的に議論されていませんでした。

3点目 社会体育施設等の資機材保管に供用し、一部を家電品のストックヤードとして町内の家電小売業者に無償貸付けを行っています。

再質問

利活用の可能性が低いとの答弁だが、採納を受けた根拠は何か、また不動産評価額、保険料、維持費はどうなっているか。

石垣町長

利活用の可能性が低いと言ったのではなく、利活用の可能性を引き続き検討したいということなのです。

総務課長

維持管理費は除雪と除草は現状にに応じて行い、建物には手を加えておりません。評価額は、採納時点では社屋約2800万円、住宅180万円、土地700万円です。

再質問

答弁書では補助金の利活用とあるが本来、物件を解体することと補助金は別の問題だと思えます。使えない理由は何か。

石垣町長

財政状況が厳しい中、補助制度の活用は施策上のテクニクでもあります。ある物は活用していく姿勢で事業執行を考えています。

再質問

採納を受けた時点で地方自治体として再利用するため建物が行基標準に適合しているのか具体案を示して欲しい。

石垣町長

寄付採納を受ける数値的基準はないが総合的に判断しています。建物は現状のままでは使えないので、大きな判断として改修費用をかけるのも一つの手段と思います。

再質問

石垣町長

建物は老朽化が進み危険性もあり街の中心部で景観上損なっているので即急に対応を進めていただきたいと思う。2点目 旧保育所はガラスが割れ屋根は軒天が腐敗して危険性があり、今後強風など発生した場合に行政として住宅街への安全対策と環境整備や管理状況はどうなっているか。

再質問

指摘が無いよう財産管理を徹底します。未利用建物の利活用については、補助金があるからと安易に飛びつかず、無駄のない施設整備や過大な面積にしないなどコストパフォーマンスを考えなければならぬ。

総務課長

老朽化に伴うものも含め更に監視や管理を徹底し、危険が及ばないよう適切に管理していきます。

再質問

公共施設の管理が疎かになっっている気がするのですが、今後、気を引き締めてもらいたい。

再質問

3点目 旧資料館倉庫を公有財産として管理されているが、保険料や維持費はどうなっているのか、また、草刈や屋根の雪下ろしを行っておらず、温泉から見た景観が損なわれているが管理状況は。

石垣町長

建物共済費は支払っていません。温泉周辺施設の環境整備を徹底します。指摘の点を把握して、倒壊等の危険や懸念する損害が発生しないように維持管理をしていきます。

再質問

教育委員会と家電店が共用する中で機械類や家電リサイクル品が保管されているが、万が一積雪で倒壊した場合に誰が補償するのですか。以前、家電店の無償貸付について料金徴収が適正か状況について検討すると記憶しているがどうなったのか。

再質問

また、資料要求と報告について、行き違いがある気がするが。

石垣町長

料金徴収を検討する点については、検討の結果徴収しない事としました。引き続き無償で利用していただくこととしています。

再質問

資料要求については、行政と議会の双方においてルールが不明瞭な部分もあることから、今後議会とスムーズな関係を構築できるよう努力いたします。

全道町村議会 議員研修会

全道町村議会議員研修会が7月6日札幌コンベンションセンターで開催され、今年度は泉宏氏による講演を受け研修してまいりました。



泉宏氏による講演
「参議院選最終情勢分析と
選挙後の政局展望」



研修中の様子

中川町議会議員研修

7月7日、白老町のウポポイ（民族共生象徴空間）を訪問し視察研修を行いました。

研修の目的は、差別がなく多様で豊かな社会を築いていくために、先住民族の歴史や文化を理解し学ぶためでした。

広大な敷地にはアイヌ民族の歴史や文化を学ぶための施設が点在し、その中で私たちはアイヌ民族の歌や踊り等の文化を体感できる伝統芸能上演プログラムを鑑賞しました。またアイヌ民族の歩んできた歴史の展示解説やシアタープログラム「アイヌの歴史と文化」を通じ、アイヌの歴史についてもあらためて学ぶことができました。

この研修を通して私たちは今後も少数民族の歴史や文化を学び続け、絶やすことがないように引き継ぐことが大切だと感じました。



アイヌ民族の伝統的な住宅(コタン)



施設見学の様子

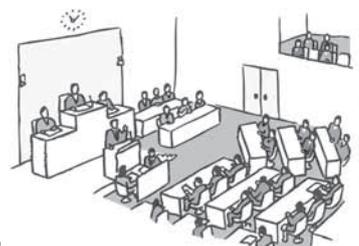


博物館正面での集合写真

議会を傍聴しませんか

議会の活性化のために多くの町民の皆さまの傍聴をお待ちしております。定例会は3月・6月・9月・12月に、臨時会は必要に応じて開催されます。

今後も町民に開かれた公正かつ透明な議会運営に努めていきます。



議 会 日 誌

4 月

28日 中川町高齢者就労センター
総会

5 月

12日 第5回ポンピラアクアリス
イング基本計画策定特別委
員会

16日 中川町商工会通常総会

18日 上川地方総合開発期成会役
員会

19日 北海道町村議会議長会理事會

23日 〃 中川町観光協会通常総会

27日 〃 各種期成会・宗谷本線活
性化推進協議会総会

30日 〃 上川地方総合開発期成會專
門部会及び総会

〃 〃 全国町村議会議長・副議長
研修会

〃 〃 合同会社ナビック フリー
ストール牛舎安全祈願祭

〃 〃 第5回議会運営委員会

〃 〃 第5回全員協議会

11日 佐久郵便局開局100周年
オープニングセレモニー

14日 上川町議会議長会役員会
及び臨時総会

〃 北海道町村議会議長会定期
総会・研究会

16日 第6回全員協議会

〃 第2回定例会

〃 第3回広報特別委員会

26日 北海道消防協会上川地方支
部名寄分会消防総合訓練大
会

28日 上川町議会議長会役員会

〃 〃 全道町村議会議員研修会

6日 〃 上川地方総合開発期成会礼
儀要望

8日 〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃



フリーストール牛舎安全祈願祭
来賓挨拶の様子

中川町議会モニター を募集しています

町議会の円滑で民主的な議会運営を
推進するため、町民からの要望や提言
及び意見等を広くお聞きし、今後の議
会運営に反映していく目的で「町議会
モニター」を募集しています。

町議会の仕組みや運営に関心があり、
町行政及び地域社会の発展に関心のあ
る方のご応募をお待ちしております。

■応募条件（若干名）

- ・ 満18歳以上の町民で、公務員、各種
行政委員でない方
- ・ 町議会の仕組みや運営に関心がある
方
- ・ 町政及び地域社会の発展に関心があ
る方

■任期

- ・ 着任の日から令和5年4月までとし、
再任は妨げない。

■職務の内容

- ・ 年4回開催の定例会に出席し、その
意見を文書等により提出
- ・ 「議会だより」に関する意見を文書
等により提出

詳しくは議会事務局 ☎ 7・2944
までお問い合わせください。

編集後記

夏の暑さも真つ盛りを感じる中
で、私たちが眠っている間にオホ
ーツク海から吹き寄せた風が、ペ
ンケ・パンケ山を下り新緑の中を
通り抜けた風が、夜明けとともに
朝露となり中川町の大地へ自然界
の恩恵を受けている。自然界には
さまざま恵みがありますが、雨
を知らせる青ガエル合唱が聞こえ
朝から雨が降っている日は誰もが
気分は晴れない、という人も少な
くないでしょう。

雨の日に限らず、私たちは天気
に対する不足を口にしがちで、時
にはそれが、人と会う際のあいさ
つにさえなったりしています。し
かし、人間の力で変えることはで
きない。雨の日は、目に入る光が
優しく色が一段と綺麗に見え、雨
の音は集中力をアップさせてくれ
るといいますが、その雨が止むの
をただ待つのではなく、雨の日な
らではの楽しみ方もあろうかと思
われます。こういった中で私たち
が生きていく上で、必要最小限の
元で雨も風もさまざまな自然の恵
みをもたらしてくれていることに
感謝をせざるにいられないのは私
だけでしょうか。

議会広報特別委員会

委員長 佐々木 英 和
委員 小池 豊



道産 間伐材使用 この広報紙は道産間伐材を使用しています。